

有田焼400年の歴史展

江戸時代から現代に至る「各時代のヒット商品」

約100点を特別展示

日本の陶磁器文化に多大な影響を与えてきた有田焼400年の歴史を、佐賀県立九州陶磁文化館 鈴田由紀夫館長、及び有田町歴史民俗資料館 尾崎葉子館長の監修のもと展示します。400年の歴史の中で、それぞれの時代の求めに応じて人々の生活文化を彩ってきた有田焼。その歴史と時の流れを感じることができる陶磁器ファン必見の展示です。



江戸期
「染付山水文大皿 1630～1640年代」
(佐賀県立九州陶磁文化館蔵)



明治期
「色絵花盆草花文菊形鉢 1870～1900年代」
(佐賀県立九州陶磁文化館蔵)



戦後
「古染風唐草 急須・仙茶・メロン皿 1975年」
(華山萬石衛門作)



ギャラリートーク

佐賀県立九州陶磁文化館 鈴田由紀夫館長による

ギャラリートークを行います。

2月24日(水) 午後2時～3時

有田焼工房再現 & ワークショップ

有田焼の工房を再現します!

有田の名窯より選抜された熟練の職人や伝統工芸士が、会期中毎日、ろくろ成形・下絵付け・上絵付けの実演を行い、匠の技で有田焼の製造工程をお見せします。

実演時間

①午前11時～正午 ②午後1時～2時30分 ③午後3時～4時30分



ろくろ成形

下絵付け

上絵付け

有田焼上絵付けワークショップ



伝統工芸士の指導のもとで、お客さま参加による上絵付けワークショップを開催します。お客さまが描かれたものを特別に設置した窯で焼成して、後日お渡しします。

参加費：2,700円(税込)

会期：2月24日(水)～28日(日) ①午前11時～ ②午後2時～

参加人数：各回8名さま

有田皿踊り

「焼き物の町 有田」独特の踊りで、踊り手が両手に2枚ずつの小さな皿を持ち、指で挟んで鳴らしながら曲に合わせて踊ります。



日時：2月24日(水) 午後1時～1時30分、午後3時～3時30分

場所：9階 祝祭広場

7階でも「400年 有田の魅力展」を特集展開します

① コトコトステージ71

『ティー&スイーツタイムを彩る有田の器たち』

2月24日(水)～3月1日(火)

※最終日は、午後6時閉場

今回の魅力展のために、特別に企画された「スクエアプレート」と「おてしよ皿」を使って今どきのスイーツタイムを楽しく、素敵に演出します。

② コトコトステージ73

『有田NOWな器たち』2月17日(水)～23日(火)

ポップでカラフル、新しい有田のうつわをご紹介

『レトロモダンな器 青花コレクション』2月24日(水)～3月1日(火)

昔からファンの多い、染付けの異人さんシリーズ。

27日(土)と28日(日)には絵付け実演も。

③ 手仕事ギャラリー

『食卓に小さな器のメッセージを・・・』2月17日(水)～23日(火)

食卓にちよこんとあるだけで

キュートな小さな器を中心に特集。

『有田焼OLD & NEW』

2月24日(水)～3月1日(火)

古伊万里をお手本に新しい

加飾の技法をプラスした

モダンな有田焼を提案。

④ キッチン&ダイニング

『今様有田lin(りん)シリーズ』

2月17日(水)～3月1日(火)

金属のような質感と

色彩がスタイリッシュな

新しい有田焼を提案。



「ティー&スイーツタイムを彩る有田の器たち」より
スクエアプレート、おてしよ皿

■お問い合わせ

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会

佐賀県西松浦郡有田町本町丙954番地9 大有田焼会館2階

TEL 0955-25-9340 FAX 0955-25-9341 Mail:arita400@town.arita.lg.jp



2016年は日本磁器誕生・有田焼創業400年

400年 有田の魅力展

泉山磁石場



白瓷花型花器
径47.0cm 高27.0cm

井上萬二

略歴

1929年 佐賀県有田町に生まれる
1969年 ペンシルバニア州立大学美術学科で5ヶ月間
派遣教授として作陶指導(1976年迄4回指導渡米)
1979年 労働大臣表彰 現代の名工として
1986年 佐賀県芸術文化功労賞 受賞
1987年 日本伝統工芸展文部大臣賞 受賞
1988年 内閣総理大臣と芸術を語る会 招待
1993年 佐賀県県政功労賞 受賞
1995年 重要無形文化財指定(人間国宝)
1997年 紫綬褒章 受章
2002年 西日本文化賞 受賞
2003年 旭日中綬章 受章
日本伝統工芸展審査員
現在 日本工芸会参与、有田町名誉町民



青瓷長頸瓶
径23.5cm 高33.0cm

中島 宏

略歴

1941年 佐賀県武雄市弓野に生まれる
1984年 中国浙江省龍泉県古窯跡、
南宋官窯 踏査
1990年 佐賀県重要無形文化財保持者認定
1996年 MOA美術館大賞 受賞
藤原啓記念賞 受賞
2005年 日本伝統工芸展優秀賞 受賞
2006年 日本陶磁協会賞金賞 受賞
西日本文化賞 受賞
2007年 重要無形文化財保持者(人間国宝)認定
武雄市名誉市民の称号を受ける
2009年 佐賀県陶芸協会会長就任
2010年 日本伝統工芸展鑑査、審査主任を務める
2012年 (公益)日本工芸会副理事長就任 現在に至る

会期：平成28年2月24日(水)～29日(月)

展示販売・入場無料

会場：阪急うめだ本店9階

阪急うめだギャラリー アートステージ

2月24日(水)は午後5時終了 催し最終日は午後6時終了

現代有田の名匠秀作展



人間国宝をはじめ、現代の有田の地で活躍されている作家の秀作をご覧ください。



色絵墨色墨はじき花丸紋花瓶 径22.3cm 高33.2cm

十四代 今泉今右衛門

略歴
1962年 佐賀県有田町に生まれる
1985年 武蔵野美術大学卒業
1988年 京都・鈴木治先生に師事
1990年 有田・父、十三代今右衛門の許、家事に従事
1996年 日本伝統工芸展入選（～2015）
1998年 日本伝統工芸展工芸会会長賞受賞
正会員に推挙される
2002年 十四代今泉今右衛門を襲名
2009年 紫綬褒章 受章
2012年 日本陶磁協会賞 受賞
2014年 重要無形文化財認定（人間国宝）
有田陶芸協会会長に就任
2015年 有田町名誉町民



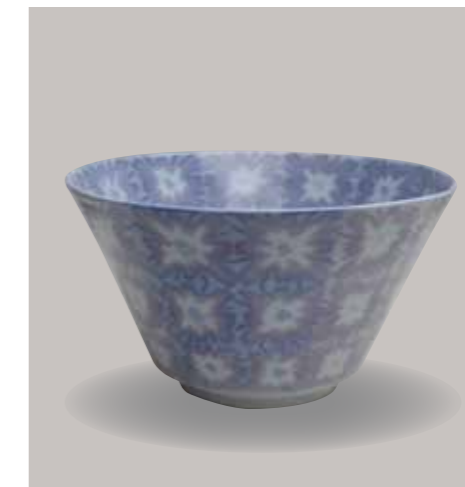
色絵薄墨墨はじき四季花文香炉 径11.8cm 高12.5cm



紅染バラ文花瓶 径16.0cm 高25.3cm

庄村 健

略歴
1949年 佐賀県有田町に生まれる
1969年 人間国宝井上萬二先生に師事
1978年 日本伝統工芸展初入選（以来41回入選）
1980年 日本伝統工芸展文部大臣賞 受賞
1988年 西日本陶芸美術展内閣総理大臣賞・
西日本陶芸大賞 受賞
2004年 有田陶芸協会、マイセン展ベルリン展出品
現在 日本工芸会正会員、西部支部幹事
有田陶芸協会理事



釉裏彩華文花器 径27.0cm 高15.0cm

河口純一

略歴
1935年 佐賀県有田町に生まれる
1954年 佐賀県立有田工業高等学校窯業科卒業
1962年 佐賀県窯業試験場
（現佐賀県窯業技術センター）勤務
1986年 日本工芸会正会員認定
1995年 科学技術庁長官表彰
1996年 佐賀県立有田窯業大学教授
2008年 有田陶芸協会会長（2014年迄）
2010年 佐賀県芸術文化功労賞 受賞

出品予定作家

井上 萬二	照井 一玄
井上 康徳	中尾 純
今泉今右衛門	中尾 哲彰
奥川俊右衛門	中尾 恭純
奥川 真以子	中尾 龍純
小畑 裕司	中尾 英純
梶原 茂正	中村 清吾
河口 純一	西山 宗元
川崎 精一	西山 正
酒井田柿右衛門	馬場 九洲夫
坂本 義弘	樋口 憲人
貞松 善次	廣澤 益次郎
嶋田 敏生	前田 泰昭
庄村 健	松尾 勝也
庄村 久喜	溝上 雅人
高森 誠司	百田 暁生
館林 賞明	矢鋪與左衛門
辻 聡彦	山口 幹彦
筒井 辰也	



濁手 団栗文 花瓶 径20.6cm 高27.5cm

十五代 酒井田柿右衛門

略歴
1968年 佐賀県有田町に生まれる
1991年 多摩美術大学絵画学科中退
1994年 十四代柿右衛門に師事
2010年 第45回西部伝統工芸展にて初入選
第57回日本伝統工芸展にて初入選
2012年 有田陶芸協会会員となる
2013年 日本工芸会正会員に推挙される
2014年 十五代酒井田柿右衛門を襲名
九州産業大学大学院芸術研究科客員教授に就任
佐賀県陶芸協会会員となる
日本工芸会西部支部幹事に就任



濁手 杜鵑草文 花器 径13.5cm 高31.0cm

ギャラリートーク

- 2月27日(土)
午後2時～2時30分 予定
・十五代 酒井田柿右衛門
・庄村 健
・辻 聡彦
- 2月28日(日)
午後2時～2時30分 予定
・十四代 今泉今右衛門
・馬場 九洲夫
・辻 聡彦

有田の名窯特集 有田の名窯による、特別企画品などを展示販売。

今右衛門窯



色鍋島横文額皿 径32.0cm 高7.0cm

江戸期、将軍家や諸大名への献上品、贈答品として造られた色鍋島。370年の伝統と技術を今に引き継ぐ今右衛門窯は精巧な技術、斬新な意匠と高い品格を持つ現代の色鍋島を追求し、国の重要無形文化財保持団体の認定を受けています。

柿右衛門窯



錦 菊梅鳥文 角形 一輪生 径9.0cm 高20.0cm

柿右衛門窯は江戸初期（1640年代）に日本で初めて磁器への上絵付を成功させ、その後国外へもオランダ東インド会社（VOC）によって紹介されました。1670年代に柿右衛門様式として確立された文様は、乳白色の素地と相まった赤絵の美しさが、現代でも高く評価されています。

香蘭社

優雅な染付・華麗な赤絵・典雅な文様など、高い技術と多彩な様式は「香蘭社調」「香蘭社スタイル」と呼ばれ、1876年のフィラデルフィア万国博覧会から世界各地で行われた万国博覧会で金賞やグランプリを受賞。伝統の中に革新を求め、現在の香蘭社が受け継がれています。

色絵草花文・切透飾り壺 径12.0cm 高32.0cm

明治期古陶磁の大蓋物に使用した図柄を飾り壺で復刻した作品です。



深川製磁



染錦唐草鳳凰文 輪花鉢 径32.0cm 高6.5cm

世界一のやきもの作りを目指して設立された深川製磁。1900年の巴里万国博覧会での金牌受賞を筆頭に、現在も欧州で高い評価を得る。明治期に建てられた工房では内7名もの伝統工芸士が在籍し、伝統技術を駆使したモダンデザインや魅力的なフカガワブルーを生み出しています。

源右衛門窯



古伊万里風菊牡丹絵花瓶 径14.0cm 高14.5cm

磁器発祥の地、有田に窯を構えて260余年。熟練陶工の手技によるやきものづくりの伝統を継承しながら、人の暮らしを直視した磁器の可能性を追求。日常食器からインテリア、工芸品まで幅広い分野や新しい分野にも果敢に挑戦し、時空を超えた「古伊万里」の美の創出を目指しています。

華やかな江戸・元禄期の「古伊万里」を思わせる、源右衛門窯の作風を象徴する逸品です。